



ことし向け



環境



NIE



地域連携

## 小学生が記者になって、海の仕事を取材！

## 海と日本プロジェクト in 名古屋

## NAGOYA Ocean Times～子ども記者が海の情報を体験・発信～

日本財団が中心となり、全国で展開している海と日本プロジェクト。7月は愛知県で、小学生が記者になり海に関わる仕事などの体験や取材をする「NAGOYA Ocean Times」(中日新聞社など協力)が開催された。

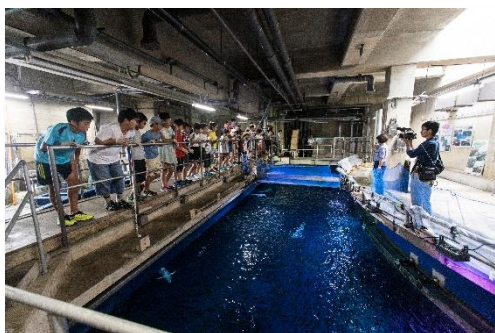
7月23日は小学生3～6年計52人が、海上輸送会社「名城ターグボート」の船に乗り、海洋ごみの清掃を体験した。船内ではクイズ形式で「多くは町で捨てられて流れ着いた」「最も多いのはプラスチック」といった海洋ごみの問題を学習。船が止まった金城ふ頭付近で、水面のペットボトルや発泡スチロールの破片などを網ですくって集めた。

ライフセーバーから海の安全についても学び、屋形船に乗って名古屋港にいる生き物や中川運河の通船通門の仕組みなどを、中川運河や名古屋港を結ぶ水上バスの船長に取材した。取材を終えた児童たちは「どう書いたら新聞記事になるの?」「どんな終わりにしよう」とスタッフらに質問しながら、真剣な表情で原稿を書いていた。

主催はNAGOYA B-sideプロジェクト実行委員会。7月23日～25日の3日間にわたり、実施された。

名古屋本社 広告二部 緒方直晃

## 当日の様子



▲普段は見られない名古屋港水族館の裏側に潜入取材! 黒潮水槽バックヤードを見学し、餌やりを体験しました。



▲屋形船に乗り込み、中川運河の通船通門の仕組みや、名古屋港に棲む生き物などについて知識を深めました。



▲ライフセーバーの仕事を学ぶなかで、海の正しい遊び方や、ライフジャケットの正しい着用方法も教わりました!



▲この日は計52名の小学生が参加! 3日間で130名以上の子ども記者が海の仕事を体験取材しました。

## 新聞告知

夏休みに海の仕事を体験取材  
子ども新聞記者募集中!

今年のお休み、夏の間、中川運河の海をテーマにした特別取材を企画し、取材してみなさんへ伝える環境水産部での職業体験やライフセーバーの方への取材など内容盛りだくさん! 船内でお楽しみながら取材が楽しめる体験型イベントです。夏休みの思い出作りにもピッタリの企画。新聞の学習が楽しくなります!

日程 7月23日(水) 7月24日(木) 7月25日(金)  
対象 小学生3～6年 小学生3～6年 小学生3～6年  
参加費 無料 無料 無料  
申込期間 7月20日(水)～7月22日(金)  
申込先 [info@nagoya-ocean-times.jp](mailto:info@nagoya-ocean-times.jp) 電話 052-221-0692  
会場 名古屋港水族館 金城ふ頭 海上輸送ターミナル企業館  
052-221-0692(受付時間:11時～18時)

海と日本プロジェクト 名古屋港水族館  
<https://b-side.nagoya.spot/umihonproject/>

▲2019年6月22日付 中日新聞朝刊

## Webサイト

海と日本プロジェクト NAGOYA Ocean Times ～子ども記者が海の情報を体験・発信～  
も記事が読める体験型・発信型参加型企画!

7月23日 海と日本プロジェクト NAGOYA Ocean Times ～子ども記者が海の情報を体験・発信～

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

「NAGOYA B-side」のwebサイトで、イベントの告知やレポートを掲載。

## ～ NAGOYA B-side プロジェクトとは ～

中川運河から名古屋港までの名古屋のウォーターフロントを盛り上げることを目的とし、2017年にスタートしたプロジェクト。パートナーメディアとして、読売新聞、中京テレビ、ゲイン、中日新聞が参画しています。

今回実施した「NAGOYA Ocean Times」は、日本財団が海の環境整備を目的として行っている事業「海と日本PROJECT」の一環として採択されました。 ◆イベントレポートはこちらから→<https://b-side.nagoya.spot/nagoya-ocean-times-report23/>